

おおま

No. 85
岬の光

平成27年5月1日発行

議会だより



春を告げる祭典

弁天神社例大祭(4月3日)

3月定例議会 主な内容

○平成27年 第1回定例会

P 2～4

○大間風力発電の報告・下北広域組合一般会計予算

P 5

○3議員が一般質問

P 6～8

○新議会議員の紹介

P 9

○故傳法清孝議員追悼・編集後記

P 10

平成27年度 当初予算

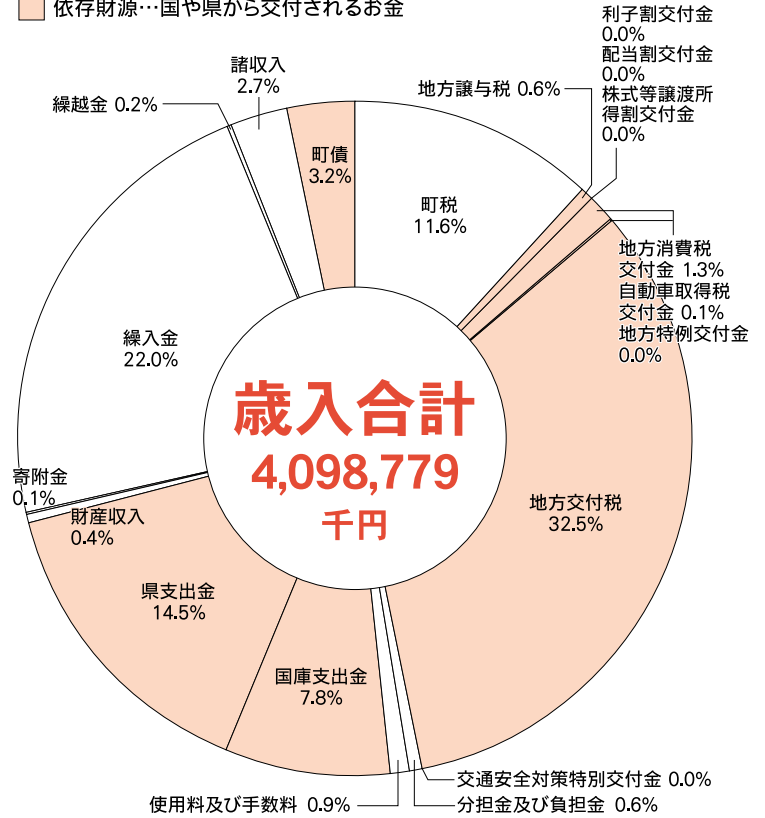
一般会計予算 40億9,877万9千円

◆歳入

(単位：千円、%)

科 目	予 算 額	比 率
1 町 税	473,514	11.6
2 地 方 譲 与 税	22,609	0.6
3 利 子 割 交 付 金	1,012	0.0
4 配 当 割 交 付 金	509	0.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	84	0.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	53,758	1.3
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	5,198	0.1
8 地 方 特 例 交 付 金	853	0.0
9 地 方 交 付 税	1,331,707	32.5
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1	0.0
11 分 担 金 及 び 負 担 金	25,573	0.6
12 使 用 料 及 び 手 数 料	37,310	0.9
13 国 庫 支 出 金	321,554	7.8
14 県 支 出 金	592,436	14.5
15 財 産 収 入	18,063	0.4
16 寄 附 金	3,400	0.1
17 繰 入 金	902,901	22.0
18 繰 越 金	10,000	0.2
19 諸 収 入	112,625	2.7
20 町 債	185,672	3.2
歳 入 合 計	4,098,779	100.0

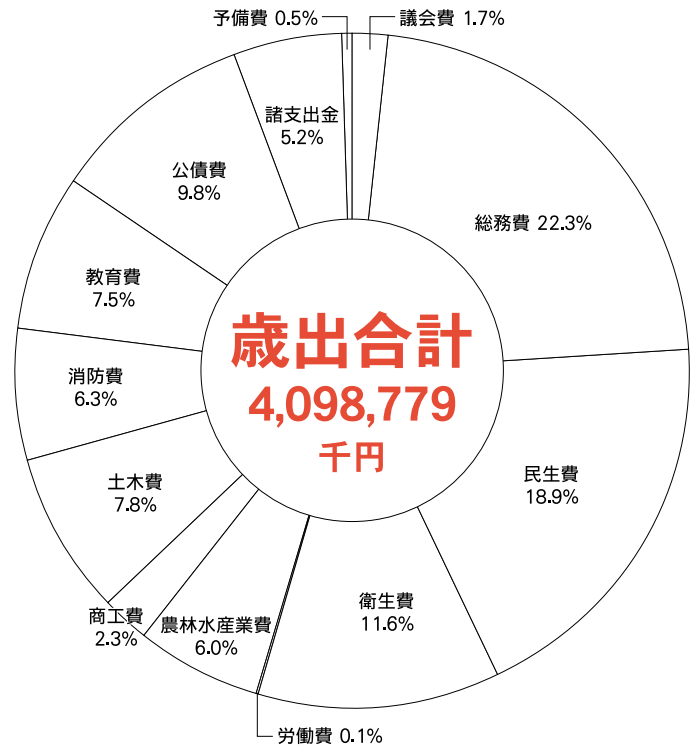
□ 自主財源…町独自の徴収や収納
 ■ 依存財源…国や県から交付されるお金



◆歳出

(単位：千円、%)

科 目	予 算 額	比 率
1 議 会 費	69,730	1.7
2 総 務 費	912,444	22.3
3 民 生 費	774,411	18.9
4 衛 生 費	476,573	11.6
5 労 働 費	2,721	0.1
6 農 林 水 産 業 費	246,554	6.0
7 商 工 費	94,925	2.3
8 土 木 費	321,351	7.8
9 消 防 費	256,754	6.3
10 教 育 費	308,691	7.5
11 公 債 費	401,042	9.8
12 諸 支 出 金	213,583	5.2
13 予 備 費	20,000	0.5
歳 出 合 計	4,098,779	100.0



第1回 3月定例会

平成27年第1回定例会を3月5日開会し、3月12日閉会しました。

本会議に提案された議案24件、承認1件、同意1件はすべて原案のとおり可決、承認、同意しました。

平成27年度 当初予算

一般会計

歳入歳出それぞれ40億9877万円となり、前年度比1億2630万円、3.2%の増となる。

歳入の主なるもの

総務費

- 公共用施設維持運営基金積立金 2億3110万円。
- 水産振興基金積立金 4375万円。
- 大函丸購入費 4828万円。
- 下北広域負担金 6071万円。
- 原子力発電所対策費 1524万円。
- 県議会・町議会・県知事3選挙費合わせて 1501万円。



北側立面図

- 奥戸向町コミュニティセンター(仮称)建設工事 2376万円。

民生費

- 後期高齢者医療療養給付費負担金 4965万円。
- 社会福祉協議会補助金 3013万円。
- 障害福祉サービス費等給付費 8104万円。



- 国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の3特別会計繰出金で 2億5563万円。
- 大間保育園運営費及び児童手当合わせて 1億6407万円。
- うみの子保育園指定管理料 5601万円。
- 一般廃棄物収集運搬及び施設等業務委託料 3304万円。
- 町一般廃棄物処分場焼却施設・旧焼却施設の解体工事合わせて 7020万円。

農林水産業費

- 材木漁港物揚場改良工事 2500万円。
- 港整備事業負担金 2000万円。

商工費

- ブルーマリンフェスティバル企画運営委託料 1350万円。
- 観光協会補助金 904万円。

土木費

- 融資対策事業貸付金 1300万円。
- 橋梁維持補修工事 4700万円。
- 奥戸向町防災公園道路新設工事 4500万円。
- 港湾改修事業負担金 3650万円。
- 下水道事業特別会計繰出金 1億1787万円。

消防費

- 下北広域負担金 2億3489万円。
- 消防団事務委託料 930万円。

教育費

- 小中学校体育館天井等落下防止工事 796万円。
- 大間中体育館引き戸改修工事 842万円。

公債費

- 奥戸小学校再生可能エネルギー等設備設置工事 5537万円。

諸支出金

- 元金 3億3833万円、利子 6271万円、の当該年度支払見込額を計上。
- 大間病院会計負担金 2億1058万円。
- 予備費 2000万円。

**国民健康保険
特別会計**

歳入歳出それぞれ11億2355万円、前年度比14・6%の増となる。

**後期高齢者医療
特別会計**

歳入歳出それぞれ4719万円で、前年度比547万円、10・4%の減となる。

介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ5億3280万円で、前年度比44%の増となる。

**下水道事業
特別会計**

歳入歳出それぞれ2億6643万円で、前年度比3393万円、14・6%の増となる。

水道事業会計

○収益的収入及び支出の収入1億6212万円、支出で1億6160万円。

○資本的収入及び支出の収入1213万円、支出で8547万円。

資本的収入が資本的支出に対し不足する額7333万円は、内部留保資金等で補填する。

工事請負契約の変更

- 一、大間橋架替工事 74844千円
- 二、変更前契約 86589千円
- 三、変更後契約 11745千円
- 四、変更による増分
- 五、契約の相手方
(株)洪田産業
代表取締役
澁田慎也

再任

固定資産評価
審査委員

※両氏とも出席議員全員の賛成をもって同意。

○大間字狼丁21番地

昭和10年10月20日生
竹内 力氏

○奥戸字二ツ石

昭和36年4月3日生
中嶋 正学氏

※両氏とも3月31日まで
もって任期満了となる。

完成



大間橋
工事費総額
86589千円



大間港
工事費総額
5億5000万円
(5年間)

**平成26年度
補正予算**

一般会計

歳入歳出それぞれ387万円を減額し、予算総額45億1574万円とした。

**国民健康保険
特別会計**

歳入歳出それぞれ3538万円を追加し、予算総額10億6583万円とした。

**後期高齢者医療
特別会計**

歳入歳出それぞれ28万円を減額し、予算総額5324万円とした。

**介護保険
特別会計**

歳入歳出それぞれ440万円を追加し、予算総額を5億4484万円とした。

**下水道事業
特別会計**

歳入歳出それぞれ139万円を減額し、予算総額2億799万円とした。

水道事業会計

支出の営業費用で16万円の追加、予備費で16万円を減額し、収益的支出の総額を1億6260万円とした。

第1回臨時会

3月26日

地方創生費4828万円を追加計上。
(翌年度へ繰り越し)
【主な事業】
人口ビジョン総合戦略策定支援業務委託
・子ども医療費取扱業務委託・きめ細かな子育て支援事業補助・プレミアム商品券発行事業補助・低所得者向け灯油等助成など

大間風力発電

平成27年3月現在
 (株)ジェイウインド大間

○事業計画の概要

所在地：青森県下北郡大間町（大間牧場周辺）
 発電所出力：19,500kW（エネルギー社製2,300kW×9基）
 ※発電所全体の出力合計は19,500kW以内に制御
 風車規模：ハブ高78m、羽根直径82m、羽根最高点高さ119m
 連系点：東北電力(株)大間支線に連系
 発生電力の用途：東北電力(株)に売電／平成28年3月 営業運転開始（予定）

○今後の計画

平成27年3月 変電設備工事の開始
 平成27年4月 風車基礎工事の開始（基礎部材 輸送）
 平成27年7月 風車組立工事の開始（風車部材 輸送）
 平成27年11月 系統連系／試運転開始
 平成28年3月 営業運転開始（平成28年6月 建設工事竣工）

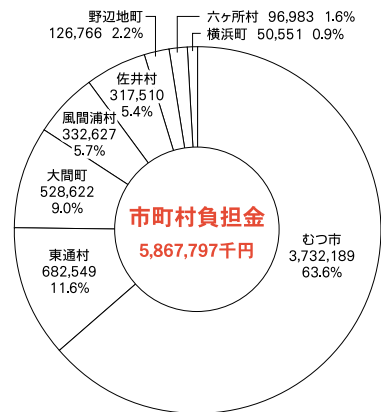
平成27年度実施予定の主要事業一覧

(単位：千円)

事業名	区分	事業費	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
舞台機構改修工事		132,300			122,300		10,000	下北文化会館
はまゆり学園建替工事		63,560			62,200		1,360	はまゆり学園
一般廃棄物処理基本計画策定業務		28,512					28,512	廃棄物施設課
水槽付消防ポンプ自動車購入		91,871			68,900		22,971	大畑消防署
大湊消防庁舎建設事業		2,279					2,279	大湊消防署
高規格救急車購入		47,596					47,596	川内消防分署
合計		366,118			253,400		112,718	

※1件 1,000千円以上の工事請負費及び備品購入費等

市町村負担金明細



平成27年度
下北地域広域行政事務組合一般会計予算

平成27年度市町村負担金明細

(単位：千円、%)

	議会費	総務費	文化会館費	民生費	衛生費	消防費	公債費	合計	構成比(%)
むつ市	1,178	57,461	101,621	62,378	1,340,799	1,506,578	662,174	3,732,189	63.6
大間町	235	10,657	—	13,412	168,502	264,695	71,121	528,622	9.0
東通村	235	11,423	—	16,566	172,281	407,780	74,264	682,549	11.6
風間浦村	235	7,443	—	7,054	83,817	193,430	40,648	332,627	5.7
佐井村	235	7,400	—	7,022	83,304	175,649	43,900	317,510	5.4
野辺地町	118	5,814	—	—	84,205	—	36,629	126,766	2.2
横浜町	118	2,869	—	—	32,367	—	15,197	50,551	0.9
六ヶ所村	118	4,800	—	—	63,904	—	28,161	96,983	1.6
合計	2,472	107,867	101,621	106,432	2,029,179	2,548,132	972,094	5,867,797	100.0

※ただし、児童福祉施設利用者負担金を含まない。

一般質問



竹内 弘 議員

役場庁舎建築のその後の見通しは

1 他議員からの質問もあつたがその後新たな考えはあるのか

町長答弁

現在、民間資金を活用する方式や、リース方式を調査研究しているところですが。

関係職員による勉強会などを開催し、今後先例地の視察などを実施することになっていきます。

民間資金を活用した庁舎建設が今一番考えられる実現性に近い方法だと思います。



平成32年の完工を目前として進められている原子力発電所の運転開始もしくは、その一

年前の燃料装荷の時点までに対応できるように、鋭意努力します。

2 現在の建物の強度調査はどうか

町長答弁

調査をしたことはありません。

昭和58年の日本中部地震の際に被害があり、補強と軟弱地盤の改良措置をしています。

できるだけ早い時期に庁舎建設を進めたい。

再質問

県内外から現庁舎を

訪れた来客者に対し都合が悪い、それを一番感ずるのは町長だと思いが。

町長答弁

できるだけ早くという思いは、私のみならず、議員各位、町民皆さんが感じら

れ、考えていることも認識しています。

再質問

民間企業を活用する話ですが、可能性はあるのか。

町長答弁

制度として認められているもので、このことについての研究を進めています。

問題になるのは、将来的に民間が建設して、使用料を支払いつながらという形になるため、その資金をどのように調達できるかという研究等についても今一緒に進めているところですが。

再質問

大間原発が平成32年とあるが、なかなかきびしいのではないかと意気込みは。

町長答弁

原子力防災を考えた時、現庁舎にはそれに対応できる、資機材を納める、執務できる場

所はありません。それらも含め、今検討しており、運開前までに

再質問

は、形が見えるようにできればという思いでいます。

再質問

85年も建築してから経っている庁舎。危険

状態なのか、一回調査してはどうか。

町長答弁

職員の中にも一級建築士がいますので、その辺の中で調査等進めたい。



一般質問



野 崎 信 行 議員

1 水素エネルギー社会に挑戦すべき

町長答弁

地方自治体として何ができるのか、関心をもって、今後、推移を注視します。

3 空き家条例をつくるべき

町長答弁

平成25年3月大間町空き家等の適正管理に関する条例を制定したが、今後は定住人口対策の一環として調査検討します。

2 避難計画 30キロ圏内の地図を早く作るべき

町長答弁

大間町津波避難計画は今年度中に策定されます。大間原子力発電所立地に伴う避難計画は、今後県が作成する計画と整合性を図り、しかるべき時期に連携して作成します。

5 フェリー地域商品券を発行してはどうか

町長答弁

フェリーに限定する商品券は、本制度の趣旨と合致しないと理解します。

6 大間町自治基本条例の制定を

町長答弁

先例自治体の状況を調査するなど慎重に対処します。

7 荒れ果てた農地の借り手を探して遊休農地を緑に

町長答弁

現在、借り手希望が2件、貸し手希望はない状況です。更にPRに努めます。

8 大間町行政評価制度を作るべき

町長答弁

今後の検討課題とします。

9 地域おこし協力隊事業獲得を

町長答弁

今後、研究します。

10 津波情報をラジオで発信しては

町長答弁

ラジオ発信するには、独自でコミュニケーション放送局を開局する必要があります。コスト面・人的にも困難と考えます。

11 オリンピックキャンプ施設誘致に声をあげるべき

町長答弁

誘致は不可能と考えます。

12 大間病院に脳CTを導入すべき

町長答弁

すでに導入されています。

13 風疹予防ワクチン接種に助成を

町長答弁

抗体検査で抗体が低

14 認知症テストを実施すべき

町長答弁

介護認定申請の際、医療機関で必ずテストを行うことになっていきます。

15 地方創生プロジェクトチームをつくるべき

町長答弁

委員会創設は法律の趣旨であり、今後メンバーを含め、慎重に検討し、組織をつくることとしています。

16 大間町にライブカメラの設置を

町長答弁

国土交通省の大間町へのライブカメラの設置は現状では困難と思われれます。

17 行政に声の届く移動役場の再開を

町長答弁

町内会との懇談や町の重要課題については随時、町政懇談会を開催しており、今後も町民との協働の町づくりを目指し行政運営に努めます。

18 無人プロペラ機で猿ぼりを

町長答弁

現時点でその考えはありません。

19 地方創生事業予算と使い道は

町長答弁

平成26年度地域活性化地域住民生活等緊急支援交付金として、地域消費喚起生活支援型1663万円、地方創生先行型2695万円合わせて4359万円が交付されています。詳細については今後、補正予算で提案します。

一般質問



岩泉盛利 議員

1 選挙に対する投票率向上対策は

昨年12月の衆議院選

挙において青森県はじめ大間町の投票率は全国最下位でした。選挙の投票は国民の義務であります。町民が選挙に関心が薄れてきていることに、選挙民の一人として責任を感じるところであります。町民が少しでも投票所に足を運ぶように努力するべきと思います。が、何か対策の考えがありましたらお聞かせ願いたい。

町長答弁

町政に多くの方の関心をもつていただくよう努力する必要を認識しています。

町としては、選挙管理委員会や明るい選挙推進協議会が展開している啓蒙活動等に最大限の協力・支援を図り、個々の意識の向上にむけた努力をしたい。

再質問

選挙管理委員会の答弁を求めます。

山本選挙管理委員会
事務局長答弁

行事の啓発として、

成人式の際の選挙豆知識のリーフレットやポケットティッシュの配布、それから県選管の事業等の協賛、随時啓発として、防災無線や広報車による住民への周知、街頭の啓発、幼児作成によるぬりえのポスター掲示などをやっていますが、結果的に投票率に結びつかない現状です。今後、

新たな政策等を考えながら進めたいと思います。

再質問

県選管では「捨てるな一票」と全国最低の投票率脱却を図るため、大型商業施設への期日前投票所の設置を40市町村にPRしているが、大間町でも移動の考えは。

山本選挙管理委員会
事務局長答弁

現状では、かなり難しいと思われる。

2 短命県返上 に対する協 力体制は

青森県は、男女の平均寿命が全国で一番短いと言われ、県ではいろいろと対策を進めており、むつ・下北4市町村においても人口減少に歯止めをかけるべく動き始めたようです。

大間町民の健康について町長の考えをお聞かせ願いたい。

町長答弁

平成22年に平均寿命の発表があり、その時点で青森県が最下位、大間もかなり低い位置にあるため、健康診断の無料化、子供に対するワクチン接種の無料化、0歳から中学生までの医療費の無料化を進めてきました。他にも、保健師・担当課が地域の会議等に出席し、健診の重要性を啓蒙してきたことによ

り、健診率はまだ低いが、伸び率は青森県でも上位になりました。更に意識を高めるため、3月7日に健康宣言をさせていただきました。

今後、子供に対する健康教育についても、教育委員会担当課と協議しながら進めたい。

再質問

町民の意識を高めるため条例に定める考えは。

町長答弁

一人一人の食生活の意識を高めるため、総合的にどうするべきか条例化も含め、研究・検討し、いい結果を生み出せるよう努力したい。

3 国道338号の 整備を

オフサイトセンター

建設予定地までの国道338号の整備を積極的に

要望活動を展開するべきと思うが。

町長答弁

以前より下北総合開発期成同盟会と要望をしています。奥戸バイパスについても県に対する要望の中で進めています。なかなか先が見えない状態です。

今後においても、皆さんの力を借りながら県に対し訴えていきたい考えです。

再質問

オフサイトセンターは原子力発電所運開一年前に完成、機能が必要である。これに関する整備・要望は今がチャンスでは。

町長答弁

国交省又は経産省のどちらが有効なのかを整理、早期にできることを含め検討し、要望を進めたい。

平成27年 4月30日就任の

議会議員を紹介します



竹内 弘 議員



岩泉 盛利 議員



竹内 勝雄 議員



佐々木信彦 議員



正根 秋雄 議員



加藤 正喜 議員



宮野 昭一 議員



野崎 信行 議員



石戸 秀雄 議員



千代谷 誠 議員

新メンバーで、町民のため頑張りますので
ご指示・ご支援をよろしくお願いいたします。

追悼



3月13日、私たちの仲間である「傳法清孝」議員が不慮の死を遂げたこと一報が入った。

3月定例議会が5日から12日まで開催されたが、「傳法議員」は議会議員に15年以上在職し、功労のあった者として「全国町村議会議長会表彰」を受け、開会日、その受章伝達式があり、最終日に記念写真を撮り終えた次の日は：誰もが耳を疑い、情報の信憑性に疑問を持つほど衝撃的で、俄かに信じられない出来事だった。

「豪放磊落」人は故人をそう表現するだろう。だが、その反面、よく気の付く、まめさを併せ持つ憎めない性格で、人には大変愛されてきた。

これまで、文教厚生（教育民生）常任委員長、大間原子力発電所対策特別委員長、産



大間町議会定例会自治功労者表彰記念 H27.3.12

業民生常任委員長等、重要ポストを歴任し、町発展に貢献してきた事を見てもお分かり頂けると思う。

ご遺族の悲しみ、悔

しさを思うといたたまれないが、残された議員一同町発展に全力で取り組むことを故人にお誓いして、お別れしたい。

(記)加藤

編集後記

今年の冬は雪も少なく、気が付けば春の様相。ウミネコが飛来し、日本で一番早いウニ籠漁が解禁になった。今年にはウニの価格が予想以上に高値を付け、漁業関係者を喜ばせている。基幹産業の漁業が元気な事は町を活気づかせる事につながり、嬉しい限りだ。

嬉しい事がもう一つ、「私の青空」のヒロイン、田畑智子さんが町の観光大使に就任。大間を大いに宣伝していただき、観光客の増加につながる事を期待したい。

(記)野崎

議会広報編集委員

委員長

加藤 正喜

副委員長

千代谷 誠

委員

竹内 弘

野崎 信行

小林 和美

宮野 昭一